

# 個人投資家向け会社説明会

2026年9月9日

**大豊工業株式会社**

証券コード 6470

**0 1 | 大豊工業について**

**0 2 | 当社の強み**

**0 3 | 未来と成長**

**0 4 | 企業価値向上にむけて**

# 01.大豊工業について — 会社概要 —

商号

大豊工業株式会社

所在地

愛知県豊田市緑ヶ丘  
3丁目65番地

業種

自動車部品製造業

代表者

新美 俊生

設立年月日

昭和19年(1944年)12月

資本金

67億1千2百万円

従業員数

連結 4,089名  
単独 1,885名

証券コード

東証スタンダード 6470  
名証プレミア

# 01.大豊工業について — 当社沿革 —

## 80年以上の実績をもつ自動車部品メーカー

1944

大豊工業設立

1946～1961

事業基盤を確立

2001

東証・名証1部上場

2023

スタンダード  
市場へ移行

### 【主な製品】

汎用/駆動用ブシュ



エンジン用すべり軸受



システム部品、ダイキャスト



EGRバルブ



バキュームポンプ



電動化対応アルミダイキャスト



自動車生産の拡大により、  
自動車メーカーによる部品生産の  
分業化が進む中で当社は創業した。

# 01.大豊工業について — 主要製品（大豊グループ）

## グループ会社製品



ヘッド  
ガスケット

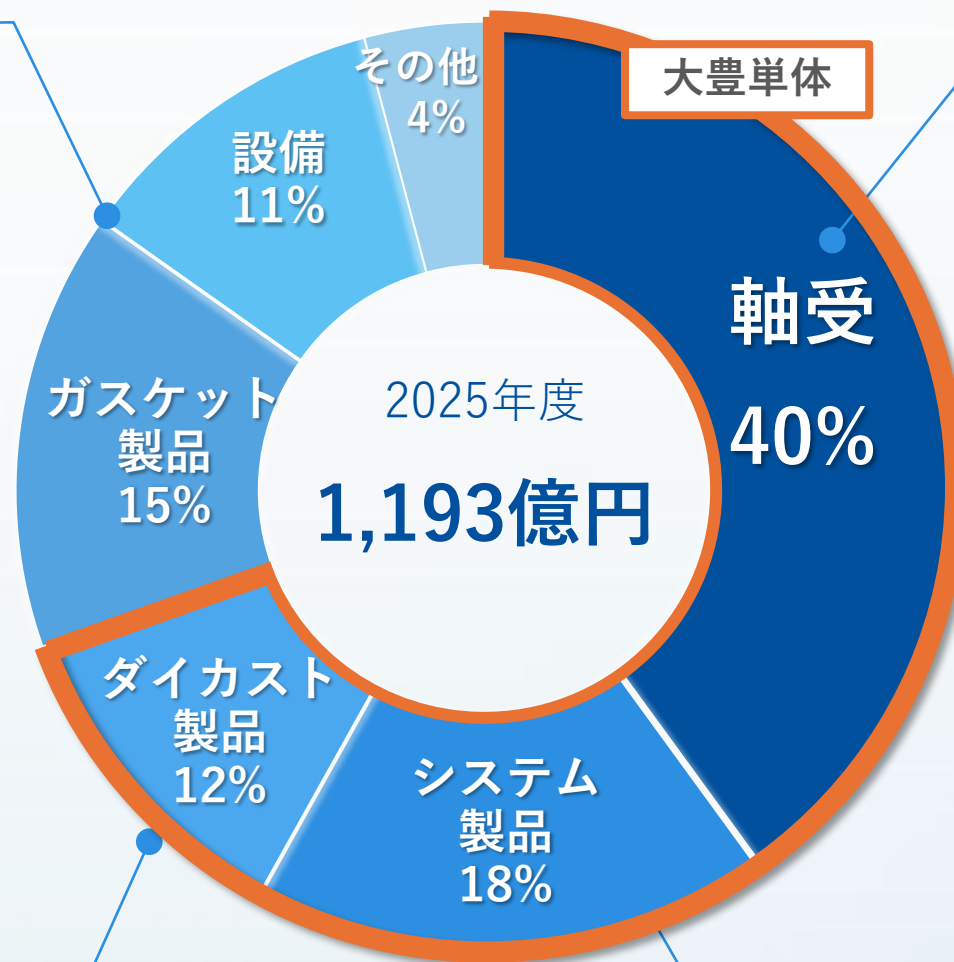


搬送設備  
金型

## ダイカスト製品



- ・ インバーターケース
- ・ カムハウジング
- ・ デフキャリア



## 軸受



- ・ エンジン用すべり軸受
- ・ 汎用/駆動用ブシュ
- ・ コンプレッサ用軸受

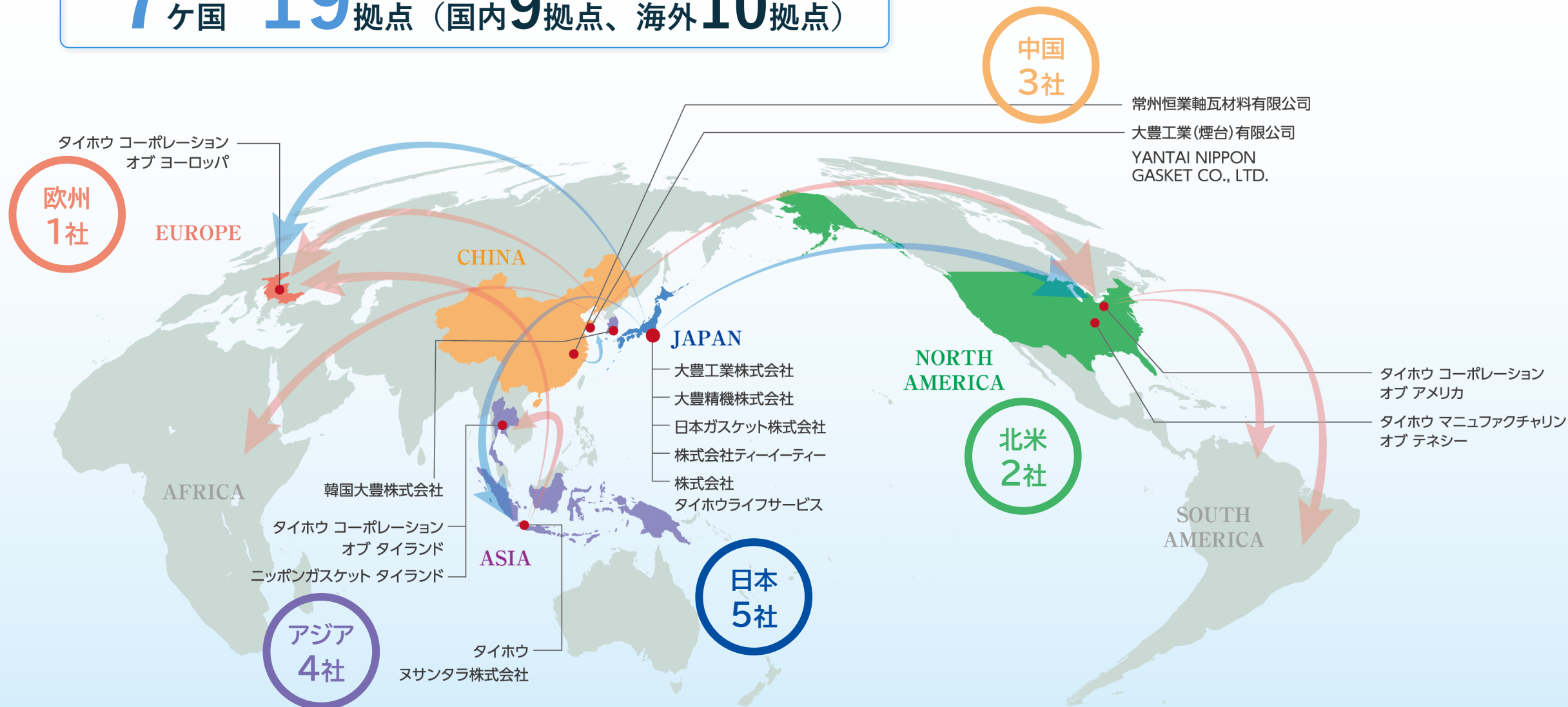
## システム製品



- ・ バキュームポンプ
- ・ EGRバルブ

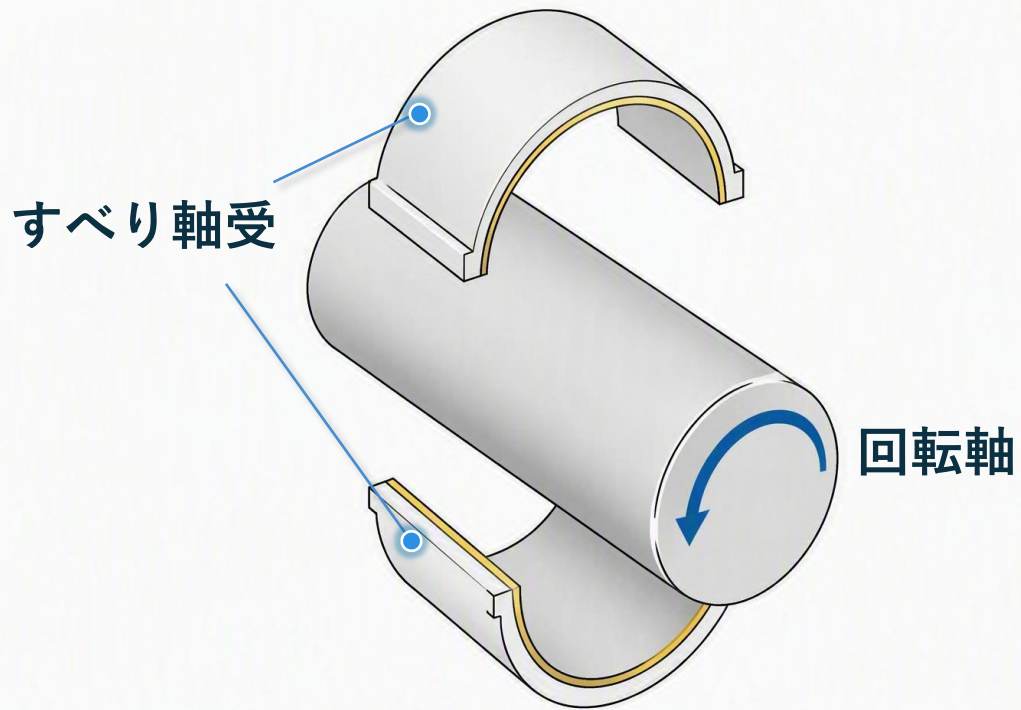
# 01.大豊工業について — グローバル拠点 —

**7**ヶ国 **19**拠点（国内**9**拠点、海外**10**拠点）



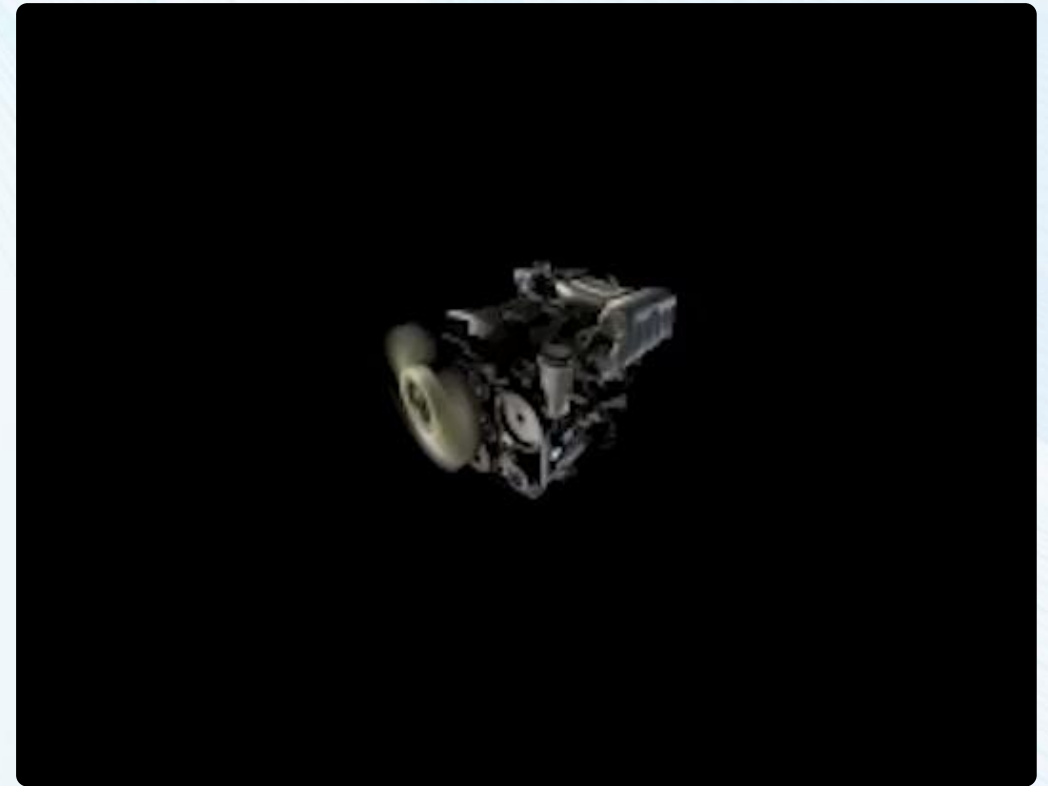
# 01.大豊工業について — 主要製品 すべり軸受 —

すべり軸受とは  
→回転する軸を面で支える部品



品質にかかわる重要な部品

すべり軸受の用途  
例) 自動車用エンジン



# 01.大豊工業について — 主要製品 すべり軸受 —

見えないところで、  
暮らしを支えている  
「すべり軸受」

発電機/農作業用エンジン



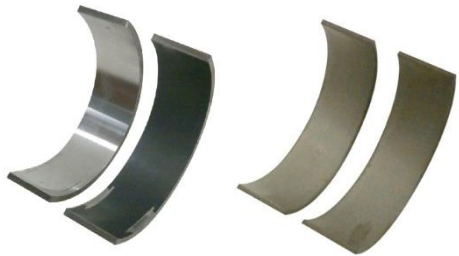
プリンター/OA機器



カーエアコン



自動車・トラック・バイク



家庭用/業務用エアコン



0 1 | 大豊工業について

0 2 | 当社の強み

0 3 | 未来と成長

0 4 | 企業価値向上にむけて

## 02.当社の強み

### 技術の強み

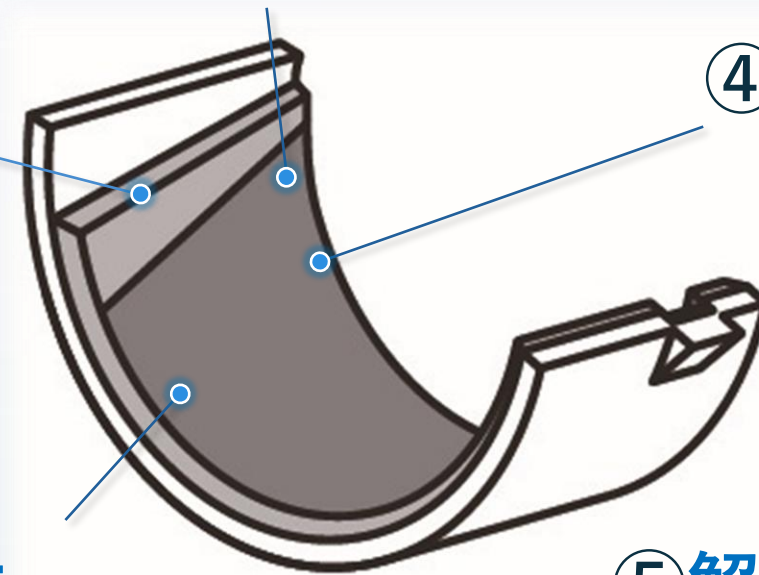
#### ①材料

摩擦や耐久性に優れた

アルミ合金/銅合金を生み出す技術

#### ②バイメタル

鋼板にアルミ合金/銅合金など  
異材を貼り合わせる技術



#### ④表面処理

軸受をさらに高性能にするための  
被膜をつくる技術

#### ③精密加工

製品を1/1000mmの精度で  
加工する技術

#### ⑤解析・評価

摩耗具合や耐久性をシミュレーション  
できる自前解析ツールを駆使して  
最適な設計提案をする技術

## 02.当社の強み

### 生産の強み

材料素材(コイル)を作るところから完成品までの**一貫生産体制**

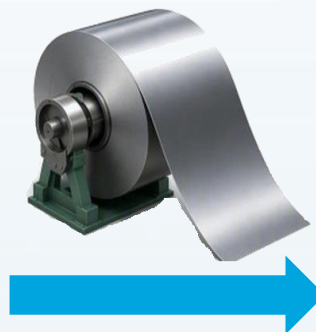
⇒ **安定かつ高い品質で大量生産**できる生産技術が当社の強みです。

#### 材料素材工程

(アルミ材料を溶かしてコイル板にする)

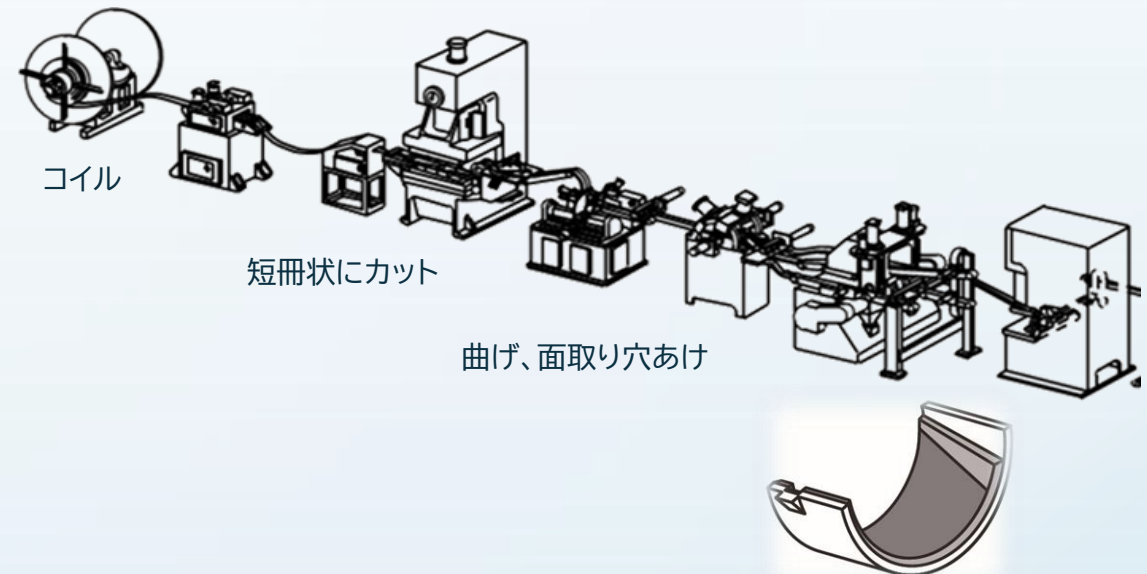


アルミコイル



#### 加工工程

(コイルから切り出し、半円状に加工、表面処理)

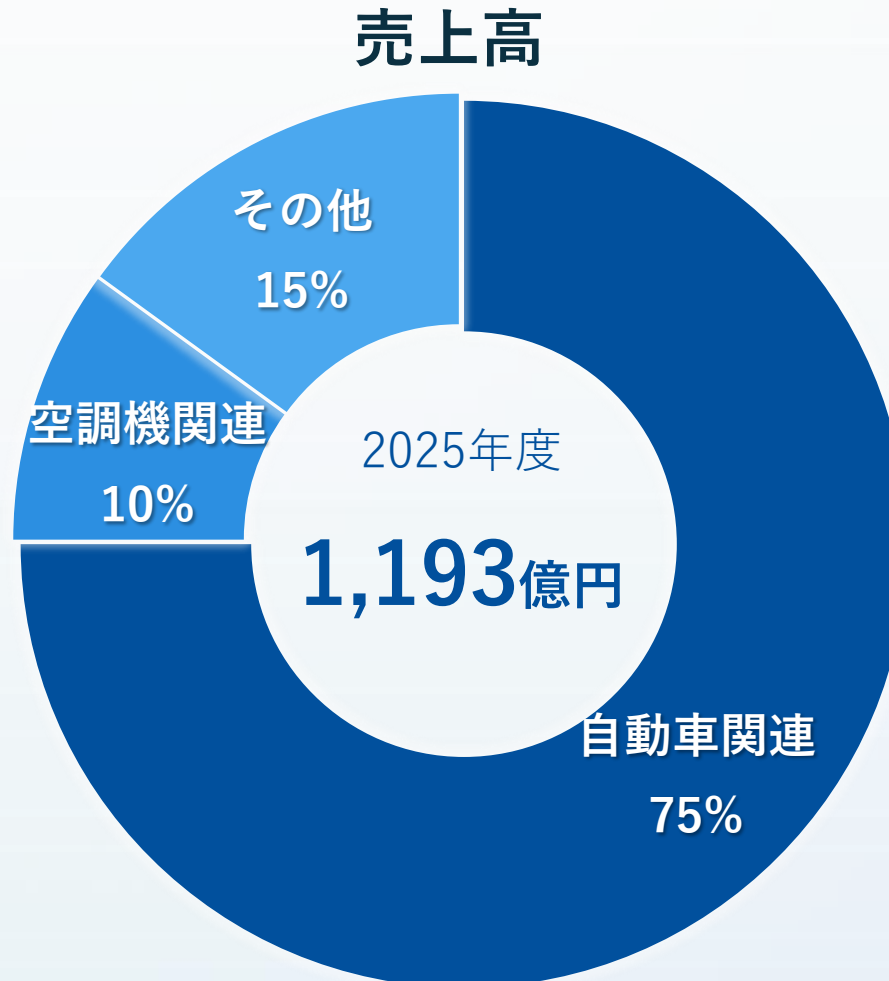


## 02.当社の強み

自動車や空調機等、グローバルでお客様から高い信頼を得ています

### 【空調機メーカー取引先】

パナソニック  
三菱電機  
サンデン  
ハノンシステムズ  
美的



### 【自動車関連メーカー取引先】

#### ●国内

トヨタ自動車  
豊田自動織機  
本田技研  
三菱自工  
マツダ  
ヤマハ  
スズキ  
SUBARU  
いすゞ  
日産

#### ●海外

GM  
メルセデスベンツ  
VW  
アウディ  
ポルシェ  
カミンズ  
BYD  
吉利



0 1 | 大豊工業について

0 2 | 当社の強み

0 3 | 未来と成長

0 4 | 企業価値向上にむけて

# 03.未来と成長 - 中期経営計画とVISION2030-

## 実績と目標

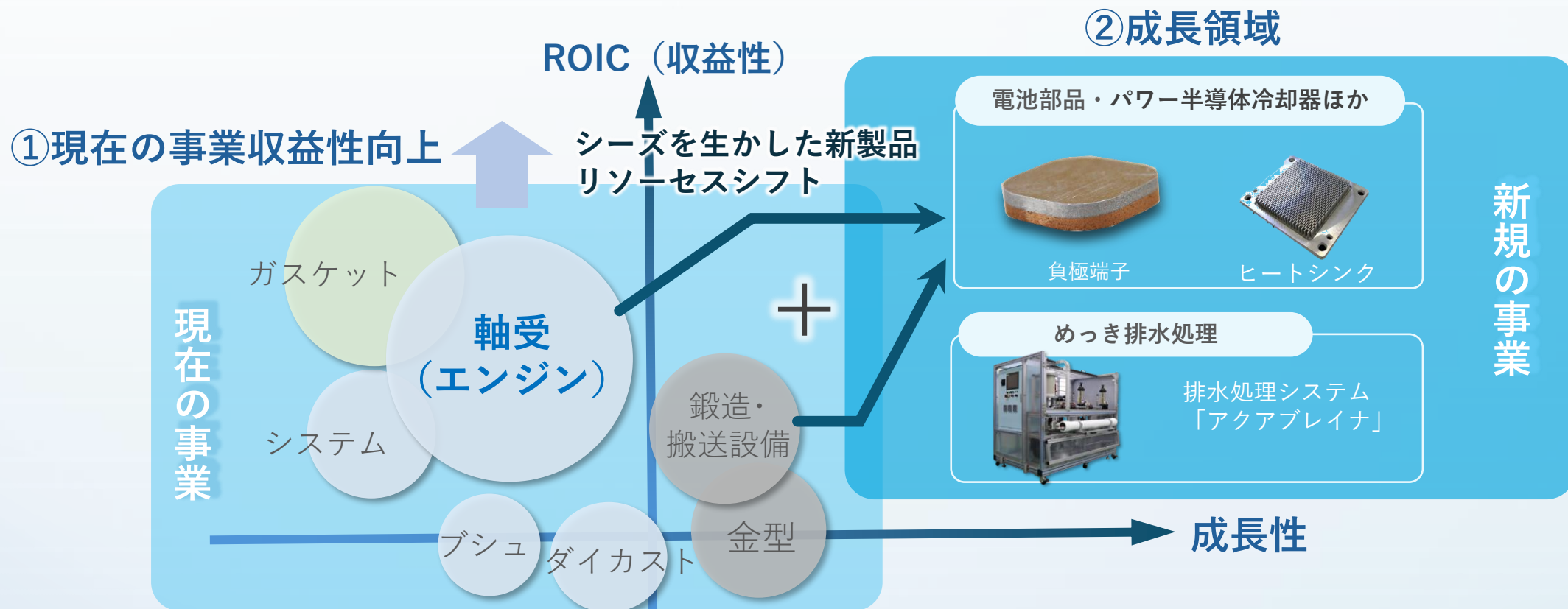
|       | 現在の事業の収益性強化 |                 |              |
|-------|-------------|-----------------|--------------|
|       | 新領域の基盤構築    | 新領域アイテム量産立上げ    | 新領域アイテム 量産拡大 |
|       | 2024年<br>実績 | 2027年<br>中期経営計画 | Vision2030※  |
| 売上高   | 1,127 億円    | 1,170 億円        | 1,300 億円     |
| 営業利益  | 6 億円        | 50 億円           | 78 億円        |
| 営業利益率 | 0.5 %       | 4.3 %           | 6.0 %        |
| ROE   | ▲6.0 %      | 5.0 %           | 8.0 %        |

# 03.未来と成長 - 中期経営計画とVISION2030-

## 中期経営計画の方針

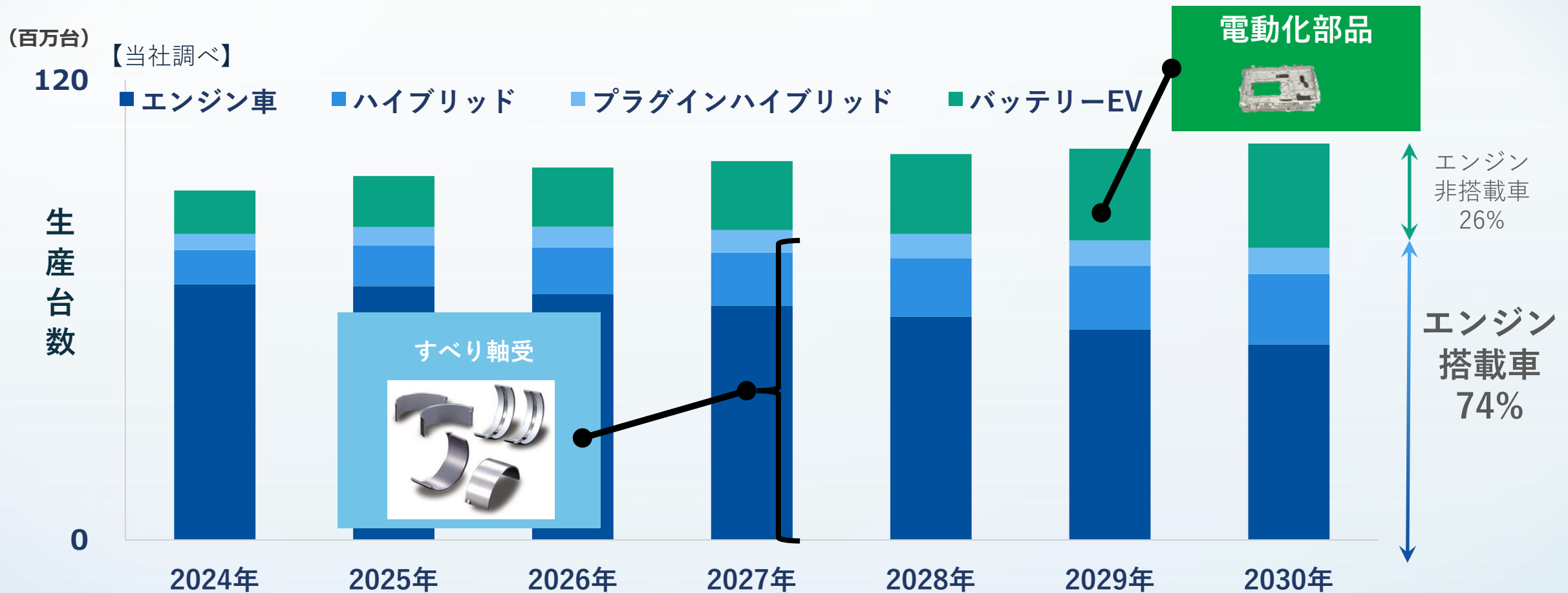
**現在の事業** ROE/ROICを管理し資本効率を改善

**新規の事業** 現在の事業で生み出した原資とシーズを生かし、事業化を推進



### 03.未来と成長

バッテリーEVが拡大する一方、2030年も7割以上はエンジン搭載車。  
弊社の主力製品すべり軸受の需要は、引き続き堅調に推移する見通しです。



### 03.未来と成長 -軸受事業の深化-

軸受事業（自動車）

世界中から求められる「補修部品」

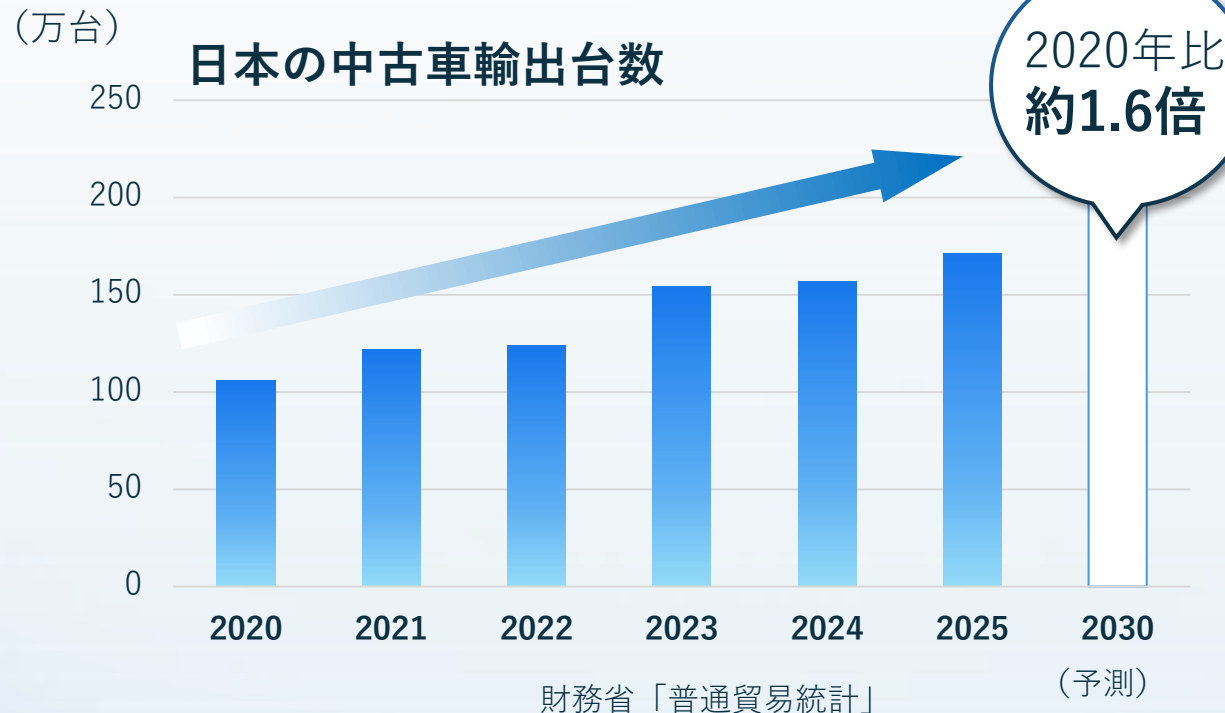
補修部品をTAIHOブランドで世界中に供給しています



世界の中古車市場からニーズ約100か国へ供給



売上高 約3割増  
(2030年度目標)



TAIHOブランドの補修部品

# 03.未来と成長 -軸受事業の深化-

軸受事業（自動車）

「補修部品」の成長戦略の要 「少量多品種専用ライン」  
一品一様のニーズにすぐに対応できる生産ラインです

補修部品 品番ごとの生産数

- 補修部品は、約2000品番  
100～2000個/月の需要



「少量多品種専用ライン」の開発

- 2023年に開発・稼働開始



専用治具不要の  
「少量多品種専用ライン」



海外顧客からの表彰  
(2026年)



安定供給と  
収益改善に貢献



補給品市場における  
ブランド価値の向上



補給品市場における  
トップシェア 40%超

# 03.未来と成長 -軸受事業の深化-

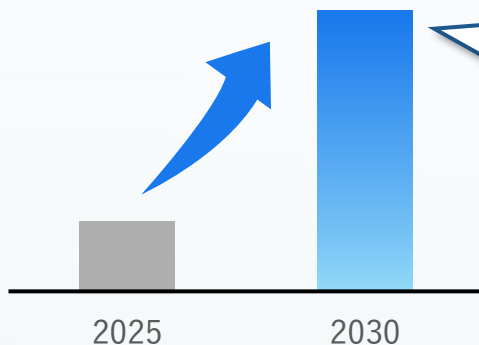
軸受事業（自動車以外）

## エアコンの省エネに貢献「カーボン軸受」

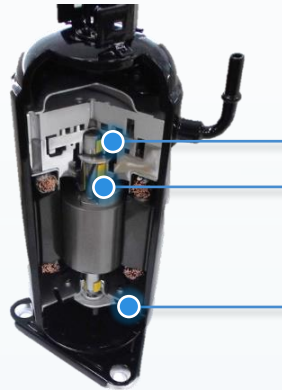


冷暖房・給湯用の省エネシステム「ヒートポンプ」の市場導入が拡大。  
弊社の高性能・高耐久カーボン軸受「CB600」が採用。

### 家庭用ヒートポンプ市場の拡大



現在の  
約4倍  
を予想



カーボン軸受  
「CB600」



### 家庭用給湯器、エアコン用途

暖房・給湯器のヒートポンプ化が  
すべり軸受の需要を後押し



### CB600が選ばれる理由

- 摩擦や摩耗が小さい
- 長時間の耐久性に優れる
- 環境規制に対応（PFAS）

「壊れない軸受」として  
高く評価

# 03.未来と成長 -軸受事業の深化-

軸受事業（自動車以外）



## 将来、欧州エアコン市場やAIデータセンター空調機へ

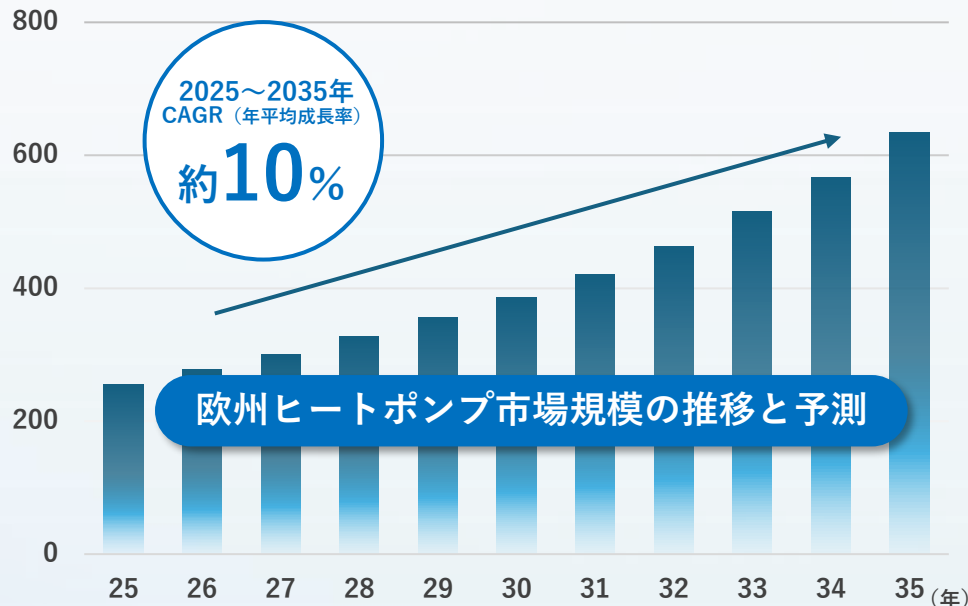
### ①ヒートポンプエアコンの市場拡大

（気温上昇、熱波等、エアコン需要が上昇）

### ②AIデータセンターの冷却ニーズ増加

（サーバーの発熱が従来比 3～20倍増）

（単位:億米ドル）



2025～2035年  
CAGR（年平均成長率）  
約**10%**

欧州ヒートポンプ市場規模の推移と予測

出典：MRFR Trends Report 2035



増加する  
データセンターの  
温度管理と  
電力消費削減

ヒートポンプ式コンプレッサの活用イメージ

外気・廃熱など



熱をくみ上げ冷やす

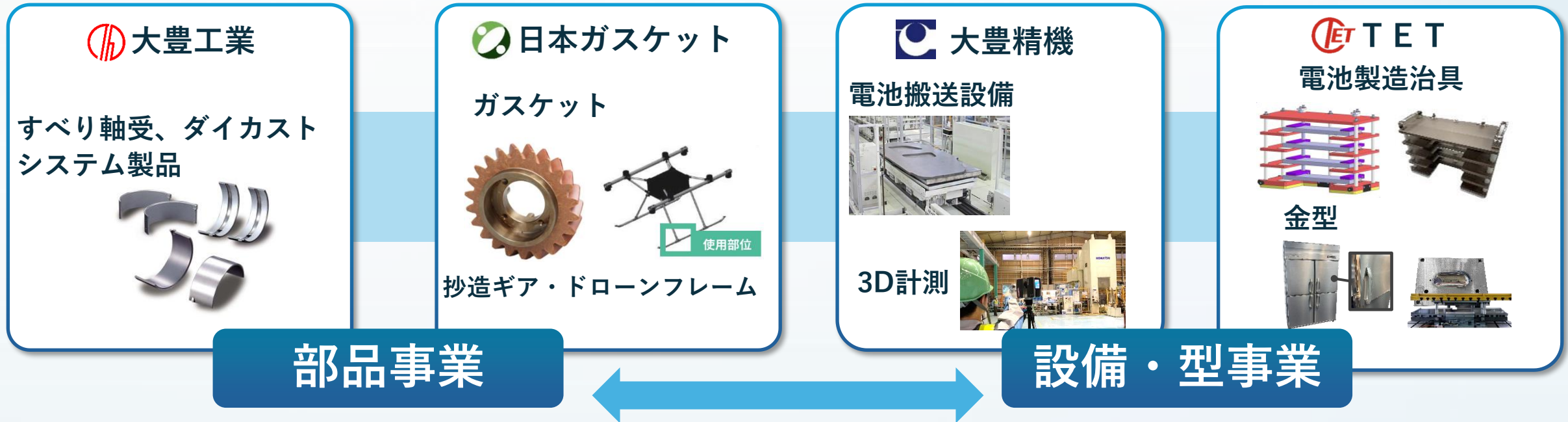


データセンター  
空調システム



# 03.未来と成長 —新領域への仕掛け—

## 大豊工業グループの力を集結し、新事業を育成



大豊グループでリソースを活用 → アウトプット最大化へ

連携強化  
の効果



お客様対応  
の加速



内製化で  
出金抑制



保全ノウハウ  
の蓄積



収益向上

0 1 | 大豊工業について

0 2 | 当社の強み

0 3 | 未来と成長

0 4 | 企業価値向上にむけて

## 04.企業価値向上にむけて

(単位；百万円)

|                     | 2025年3月期<br>(2024.4~2025.3) |            | 2026年3月期<br>(2025.4~2026.3) |            | 増減     |            | 通期予想<br>(2026.4~2027.3) |            | 増減（前期比） |            |
|---------------------|-----------------------------|------------|-----------------------------|------------|--------|------------|-------------------------|------------|---------|------------|
|                     | 金額                          | 利益率<br>(%) | 金額                          | 利益率<br>(%) | 金額     | 増減率<br>(%) | 金額                      | 利益率<br>(%) | 金額      | 増減率<br>(%) |
| 売上高                 | 112,789                     | -          | 119,378                     | -          | 6,588  | 5.8        | 120,000                 | -          | 622     | 0.5        |
| 営業利益                | 610                         | 0.5        | 2,589                       | 2.2        | 1,978  | 323.8      | 4,500                   | 3.8        | 1,911   | 73.8       |
| 経常利益                | 910                         | 0.8        | 3,007                       | 2.5        | 2,096  | 230.1      | 4,800                   | 4.0        | 1,793   | 59.6       |
| 親会社株主に帰属<br>する当期純利益 | -4,187                      | -3.7       | -5,967                      | -5.0       | △1,780 | -          | 3,600                   | 3.0        | 9,567   | -          |

## 04. 企業価値向上にむけて

### 売上高、営業利益率の推移

VISION 2030

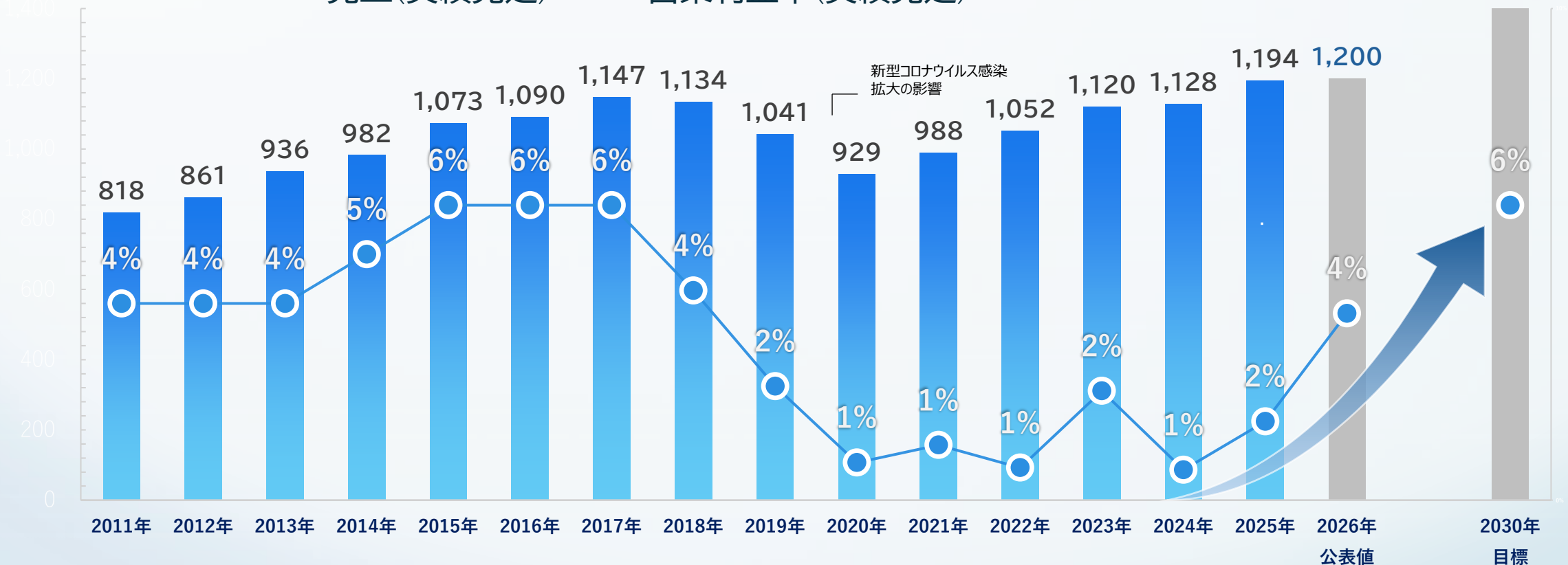
営業利益 6%

ROE 8%

(億円)

■ 売上(実績見込)

● 営業利益率(実績見込)

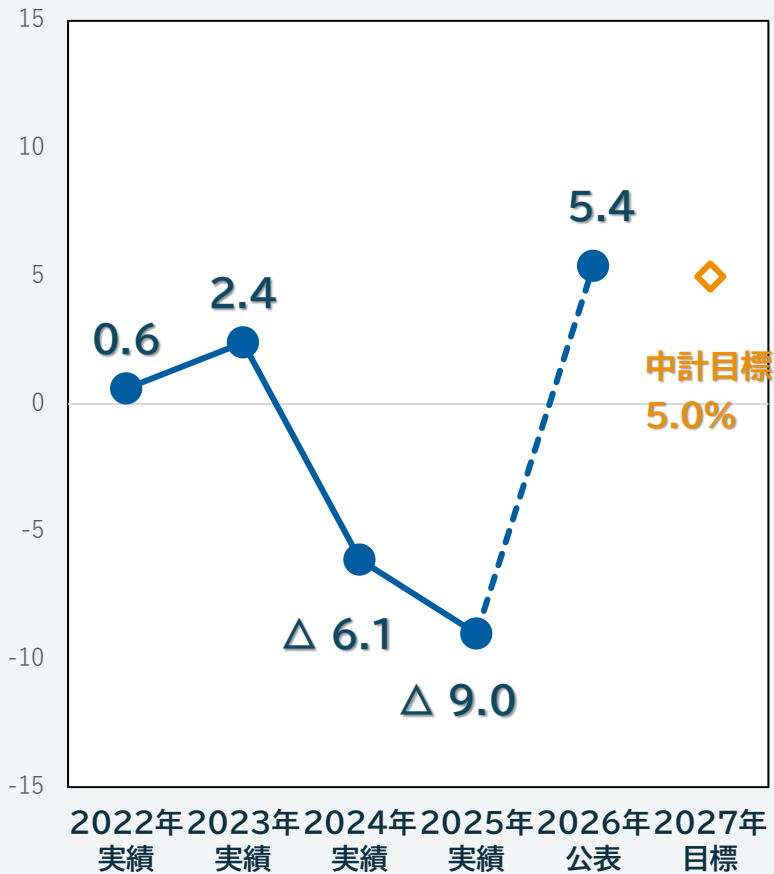


# 04.企業価値向上にむけて

## ROE、株価、PBRの推移

ROEの推移

(単位：％)

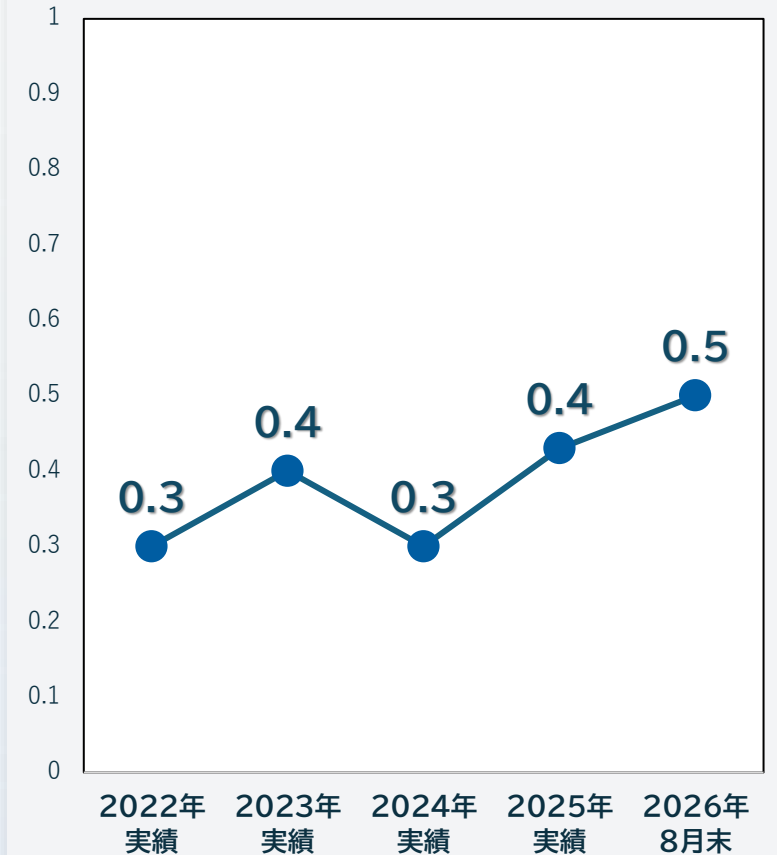


株価の推移

(単位：円)



PBRの推移



## 04. 企業価値向上にむけて

### 株主資本コストを上回る収益性の実現に向けて

エクイティスプレッド向上 ROE8%以上の早期達成

#### 1. 稼ぐ力最大化

- 現状ユニットの生産性、事業採算の向上
- グループ一体となった新事業の発掘・促進

#### 2. 資本効率向上

- 資本効率を重視したバランスシートの改善

#### 3. 資本施策の推進

- 株主還元の充実

- ・ 原価改善
- ・ 製造ラインの更新・強化
- ・ 販価交渉強化
- ・ DX推進

- ・ 新事業投資/  
現状事業用投資  
の戦略的配分

- ・ グループ会社間  
のリソース連携  
強化

- ・ 投資基準厳格化
- ・ 生産集約
- ・ 在庫の適正化
- ・ 政策保有株式縮減

- ・ 長期安定配当
- ・ 配当性向30%以上  
DOE(1~3レベル)

- ・ 機動的な  
自己株式取得

# 04.企業価値向上にむけて

## 株主還元の充実

- 長期安定的な配当金
- 機動的な自己株式取得

1株あたり配当金の推移

(単位：円/株)



|                | 2017<br>(年度) | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 | 2024 | 2025 | 2026<br>(予想) | 2030 (予想) |
|----------------|--------------|------|------|------|------|------|------|------|------|--------------|-----------|
| 配当金<br>(円/株)   | 45           | 32   | 24   | 20   | 20   | 20   | 20   | 20   | 28   | 30           |           |
| 自己株式取得<br>(億円) | 0            | 0    | 0    | 0    | 0    | 2    | 0    | 3    | 0    | 未定           |           |



# 本日はご清聴ありがとうございました

## 本説明会の注意事項

本資料には、当社の将来に関する計画、戦略、業績見通し等の記述が含まれています。これらの記述は、本資料作成時点において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、さまざまなリスクや不確実性を含んでいます。実際の業績等は、経済情勢、市場動向、為替変動その他さまざまな要因により、本資料に記載した見通しや計画と異なる可能性がありますので、あらかじめご了承ください。